

平成29年度
学校関係者評価報告書

学校法人 佐藤栄学園
専門学校 埼玉自動車大学校

1. 目的

学校関係者評価は以下のことを目的として実施するものとする。

- ①自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。
- ③学校は評価結果を改善方策の検討において活用し、次年度の重点目標の設定や学校運営や教育活動などについて具体的に改善を図る。

2. 学校関係者評価委員

- ① 有地優美子 保護者 埼玉自動車大学校親交会 会長（委員長）
- ② 荒井 哲 保護者 埼玉自動車大学校親交会 副会長
- ③ 柏原美穂代 保護者 埼玉自動車大学校親交会 副会長
- ④ 細井和弘 第27期卒業生 株式会社オートガレージKAZU
- ⑤ 原島政幸 有限会社CarBodyShop Vicky代表取締役

3. 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 平成30年5月10日（会場 埼玉自動車大学校 第1応接室）

第2回委員会 平成30年6月24日（会場 埼玉自動車大学校 第1応接室）

4. 学校関係者評価委員会報告（評価する点、改善点、要望等）

（1）教育理念・目的・育成人材像

- ・教育理念・目的・育成人材像が明確であり、自動車整備の技術のみならず、社会人として大切な教育を、建学の精神「人間是宝」、校訓「徳・技・知」の教えのもと、しっかりと取り組んでほしい。

（2）学校運営

- ・入学者数が減少する中、しっかりと考えられた事業計画に基づき実施されている。新しいHPで情報をより分かりやすく伝えられるように写真等を随時新たなものに更新して、魅力的な内容にしていきたい。
- ・事業計画に沿った環境整備が成されているが、今年度も学生数に見合った老朽施設の改善にあたって欲しい。

（3）教育活動

- ・カリキュラムやインターンシップ、授業内容などは大変充実しており、卒業後の仕事にも直結するような実習も大変素晴らしいと思う。しかし、資格取得の観点から考えて一級に関しては、この2年間の傾向を考え、従来のやり方の再考をお願いしたい。
- ・一級のインターンシップに留まることなく、二級、車体、カスタムにおいてもより一層の企業体験等の場が増え、実践に繋がることをお願いしたい。

(4) 学習成果

- ・一級はここ2年あまり、試験の傾向が変わったため、以前のように高い合格率を保っていない。より成果が上がる講義内容を構築していただきたい。また、卒業してなお再チャレンジしようとする者への研修会等のフォローを考えていただきたい。
- ・就活に関するフォローに感謝すると共に、卒業生の早期退職についても原因究明・フォローすることにより、次年度の就活にも活かされるような情報共有をお願いしたい。

(5) 学生支援

- ・進路、就活、学生生活の相談など大変充実し、1人1人に寄り添って考えていただいている。また、サークル・クラブ活動もお力添えをいただき、勉強だけではない充実した毎日を送れていると思う。一級不合格者に対するフォローを、より一層充実させていただきたい。
- ・国家試験対策において、在籍・卒業生関係なくフォロー体制の確立化をすることにより、学生の満足度向上と入学希望者増へ繋がると思われる。

(6) 教育環境

- ・施設・設備はとても整備され充実している。学生の学ぶ意欲をより一層高めるための実習車両など時代のニーズに合った魅力的なものをお願いしたい。また、最新式の機器をディーラーよりも先に使えるのはすばらしいが、職場で実際に使うであろう古い機器も適格に使えるようご指導をお願いしたい。
- ・夏季実施の希望者向け救命講習を、全学生に実施することにより命の尊さを学んでほしい。
- ・海外研修がユタ短期留学に一本化され、より方向性が明確になり学生に魅力が伝わるものと思う。内容の充実化を期待している。

(7) 学生の受入れ募集

- ・オープンキャンパス、公開授業など、大変良く工夫され行われていると思う。女子へのアピールはやはり良いものがあったとしても、それが伝わらなければわからないので、ホームページやツイッター他、広く情報を公開していただきたい。女子会など大変良いと思う。また、子供に対しては、例えば学校で「子供モーターショー」のような楽しく車と触れ合える催しを考えていただきたい。
- ・女子学生確保に向けて、他校のネームバリューに劣ることのない就職率・国家試験全員受験による結果の提示や卒業談により、選択肢の1つになるよう努めて欲しい。
- ・未就学児を含む低年齢層に興味を持たれる内容作りをお願いしたい。
- ・車の楽しさを中学生にアピールことが大事なので、将来を見据えて中学生が楽しめるイベント開催などを実施する。
- ・女子学生の卒業生から卒業後にアンケートを行い、就職してから実践的な学校への要望

(資格や講習) や意見をまとめて、今後の女子学生募集に活用していただきたい。

(8) 財務

- ・事務局、学校側の皆様のご尽力で有効かつ妥当なものとなっている。引き続きバランスのよい、教育の質を低下させない経費の節減、有効活用を望む。
- ・引き続き、環境配慮や高齢化に伴う流通車両の魅力の低下による整備士希望者の減少を鑑み、学生確保に努めて欲しい。

(9) 法令等の遵守

- ・個人情報管理の徹底を引き続き計っていただき、適正な学校運営を今後もお願いしたい。
- ・SNSツールの発達・利用者増による個人情報管理の徹底をお願いしたい。個人ブログへ載せる画像や文面の制限なども急務と感じている。
- ・学生が巻き込まれそうな事件や犯罪などの事例・対策について、警察か弁護士による講演を実施していただきたい。(あおり運転やネットなど)

〈平成30年度の取組状況〉意見・改善点

- ・「学生の取り合い」のようになっている状況と伺いました。しかし、入学された学生さんや、その保護者の方に聴くと「この学校に入って本当に良かった。」とされています。つまり、オープンキャンパスなどで、いかに我が校が魅力的であるかをしっかり伝えることが本当に大切だと思います。
- ・年間行事予定の全保護者への配付により、足を運びやすい保護者のみならず、遠方の保護者への安心材料の1つになる。
- ・自動車離れの時代に車の楽しさや便利さを、多くの人にホームページなどで広くアピールしてほしい。

以 上